平野智佳子氏著書合評会『酒狩りの民族誌・ ロディー・ポスト植民地状況を生きるアボリジニ』

酒狩りの民族誌

ポスト植民地状況を生きる アボリジニ

平野 智佳子著

HIRANO Chikako

酒は白人の毒だ!」 酒によって失われた 先住民の文化と社会。 飲みたいけれど、 飲むのはよくない…。 「正しい道」を歩むべく、 人びとは今日も「狩り」に出る。

【日付】2023年6月23日(金)

【時間】 15 時~17 時ごろ(14 時半開場)

【場所】神戸大学 鶴甲第一キャンパス A 棟大会議室

御茶の水書房 ◎ 定価(本体8,000円+税)

【開催形式】対面とオンラインのハイブリッド形式 事前申込は裏面へ 神戶人類学研究会

【コメンテーター】平野智佳子(国立民族学博物館助教)

合評会の企画要旨

神戸人類学研究会では、今年2月に刊行された『酒狩りの民族誌—ポスト植民地状況を生きるアボリジニ』(平野智佳子著、御茶の水書房、2023年)の合評会を開催いたします。本書は、オーストラリアで国家的課題となっているアボリジニの飲酒の内実に迫り、困難に直面する人びとの新たな選択や決断を読み解くものです。

当日は著者の解題や2名の評者による論評に加えて、全員参加型の討議をおこないます。

【タイムテーブル】

15:00~15:05 趣旨説明 15:05~15:25 著者解題

15:25~15:45 コメント① 窪田幸子 15:45~16:05 コメント② 栗本英世

16:05~16:15 休憩

16:15~16:30 著者からのリプライ 16:30~17:00 フロアの質疑応答

17:00 ごろ 終了



【参加登録】

どなたも自由に参加いただけます。

参加人数の把握のため、6/21(水)までに事前の参加申し込みをお願いいたします。 ご参加の方は右の OR コードからご登録ください。

開催までにご登録いただいたメールアドレス宛に発表資料をお送りします。 オンライン参加を希望された方には前日までに zoom の URL をお送りいたします。



【会場へのアクセスについて】

神戸大学鶴甲第一キャンパス最寄り駅:JR 六甲道駅、阪急六甲駅、阪神御影駅 各駅から16または106系統のバス(約7~8分間隔) 「神大国際文化学研究科前」停留所下車

【主催】

神戸人類学研究会

【共催】

科研基盤 B「新啓蒙主義(ネオ・エンライトメント)と謝罪の文化-文化人類学と歴史学の共同研究」 (代表者:窪田幸子)(研究課題/領域番号:22H00775) 神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート(Promis)

【問い合わせ先】

神戸人類学研究会

德田惠 anthropologykobe@gmail.com